

# ドローン・空モビリティ評価技術の今後

～EMCから上空の電波アセスメントまで～

多様な産業分野での活用が進むドローン。技術も成熟し、第1段階のマルチコプター型ドローンは完成の領域に近づいています。一方で、自ら発するノイズに関する課題は十分に考慮されていません。外部からの電磁ノイズに対して脆弱性を有する機体も少なくないようです。ロストや墜落などの重大事故の要因となりえます。人間が乗用する機体となれば、このような課題はさらに重要視されるでしょう。

大分県産業科学技術センターでは、H29年度より、ドローンのEMC評価にくわえ、空域の電波環境計測に取り組んでいます。自動車や航空機のように、標準化された試験法が確立されていないため、適切な試験の実施は容易ではありません。ドローンはGNSSや地磁気などのセンシング機能も多用するため、それらに対する試験も必要です。多くの電波が飛び交う都市部・低空域をフライトする機体…を想定した試験も求められます。

本シンポジウムでは、試験法の検討や当センター施設の利用法について、さまざまな講演をご用意しました。ドローン・空モビリティへのEMCにご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

## 記

- 日時： 2025年1月10日(金)13:30～16:40
- 場所： 大分県産業科学技術センター多目的ホール  
(Zoomハイブリッド開催)
- 参加費：無料
- ご対象：ドローンのEMCにご関心のあるメーカー技術者、研究者、  
規制関連などのご関係者
- 主催： 大分県産業科学技術センター
- 申し込み方法：URLまたは二次元コードから



アクセスのうえお申し込みください

(URL) <https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys/2685727458697560811>